

住民主体で福祉のまちづくりを推進する情報交流紙です

よつ葉のクローバー KIKUSUI

No.58 2012.6.1.



菊水福祉のまち推進センター運営委員会
福まち通信

札幌市白石区菊水6条4丁目3-10
電話 011-887-7006 FAX011-811-3831
URL <http://kikusui-net.jp>



菊水北公園の八重桜

「民生委員・児童委員の日」街頭啓発

5月15日（火）、地下鉄白石駅出入口付近で民生委員・児童委員制度の街頭啓発活動が行われました。

この取り組みは、毎年全国各地で行われる「民生委員・児童委員の日」に併せて、より多くの人に民生委員の活動について知ってもらうことを目的に白石区民生委員・児童委員協議会（奥村輝一会長）が行ったものです。

白石各地区の民児協の会長・副会長が「いつもあなたのそばに・これからも地域のために」と染め抜かれたの



ぼりを立て、「民生委員・児童委員はあなたの一番身近な相談員です。」と書かれたポケットティッシュを道行く人に手渡しました。菊水地区からは鈴木会長、大久保副会長、菱田副会長が参加しました。

【参考】民生委員・児童委員の日の由来とは

民生委員・児童委員の日は、昭和52年（1977年）に当時の全国民生委員児童委員協議会（現在は全国民生委員児童委員連合会）が定めたもので、大正6年（1917年）5月12日に民生委員・児童委員制度の前身の岡山県済世顧問制度設置規定が公布されたことに由来するものです。

なお、全国民生委員児童委員連合会では、5月12日を「民生委員・児童委員の日」として、5月12日から18日までの1週間、民生委員・児童委員の活動を地域のみなさまに知っていただくための「活動強化週間」としてさまざまな取り組みを進めています。

交通死亡事故発生に伴う緊急街頭啓発並びに事故防止検討会の実施

5月18日（金）午後7時40分ころ、白石区菊水3条4丁目の路上において、国道36号線方向から、南郷通方向に普通自動車を運転していた車両に、買い物帰りに横断歩道のない車道を横断していた歩行者と衝突し、歩行者が死亡する交通事故が発生しました。

死亡交通事故を受けて、5月25日（金）14時から菊水3条5丁目「大型スーパー前」の道路歩道において、町内会の住民の皆さん52名が旗を振り事故現場での街頭啓発を行いました。



続いて、白石警察署2階会議室において、事故防止検討会が開催されました。

検討会の出席者は、地域住民の皆さんの他警察本部職員1名・白石警察署職員5名・白石区役所関係機関職員3名が出席しました。

冒頭、参加者一同は、交通事故で死亡された方に黙とう致しました。

白石警察署三浦交通課長から同所付近において過去3年間で人身事故12件が発生している。大型スーパーの開店に伴い同所付近の交通量の増加が影響していると思われる。事故再発防止には、次の2点の厳守をお願いしたい。①道路を横断する時には、横断歩道を利用し、左右の安全を十分確認して横断する。②夜間外出時には、明るい色の服装や夜間反射材を着用する。

再発事故防止検討会の要旨は、①交通事故の多発は、道路の構造上の問題点があるのではないか？②大型スーパー側の照明が明るいのに、白石区菊水3条4丁目側の車道が暗い。運転手側から見ると車道が暗いので、歩行者の発見が遅れるのが交通事故の原因ではないのか。事故防止策は、街路灯を増設して車道を明るくする必要がある。③歩行者は、横断歩道まで歩く距離があり、横断歩道のない車道を横断する歩行者が後を絶たない状況である。大型スーパーの歩行者用通路の近くに、横断歩道を設置したほうが良いのではないかと検討したが、従来からある横断歩道との間隔が短くなり横断歩道の移動は難しいとの説明があった。ただし、地域住民の総意として横断歩道の移動が必要と一致すれば、横断歩道移動設置の要望書を道警本部に提出する方法もあると



横断歩道の移動が必要と一致すれば、横断歩道移動設置の要望書を道警本部に提出する方法もあると

のアドバイスがありました。

上記の地域住民の意見を参考にして、白石警察署・白石区役所関係機関は、必要な再発事故防止策を検討することになりました。

警察本部交通部守谷管理官から再発事故防止策は、警察本部・白石警察署・白石区役所関係機関・菊水南連合町内会が死亡事故の原因となる問題点を共有し、それぞれの立場で具体的な再発防止策を検討・実施することが重要とお話がありました。

なお、地域としては、関係機関等が早急に具体的な再発防止策を講じるように強く要望致します。

ケアホーム「たんぽぽ」をよろしく



菊水まちづくりセンターと道路を挟んでの左斜め向かいに、左の写真の建物があることに既にお気づきの方が多いと思います。

この建物は社会福祉法人「札親会」が、支援している知的障害者のケアホーム(住む家)として建てたもので、昨年の建設準備の段階から、菊水北連合町内会様や該当地区の単位町内会様には格段のご協力ご配慮を頂きました。今年の2月29日に工事が竣工し、4月から10名の女子利用者が入居し生活しています。

ケアホームとは、知的障害者の社会的自立を目的に設けられている通所の授産施設で働く人たちに、さらに保護者である親兄弟から離れても生きていける、暮らしの場、生活の場を提供するものです。障害を持つ子の親は、絶えず子どもの将来について心配しています。自分たちがいなくなった後、子どもが安心して暮らしていける環境づくりに常に真剣に取り組んできました。その思いが実を結び、この度木造2階建て(定員10名・女子)のホームが完成しました。全室個室で、スプリンクラーなどの防火・防災設備は万全を期しましたし、2名の職員を配置し日常生活の支援に当たらせるほか、夜間の宿直体制にも配慮をしています。

通常、昼間は通所授産施設で働いているため不在ですが、土日や祝日などはホームでの生活となります。これからは、ご町内の皆様と日常生活の場でいろいろな交流が続いていくこととなります。先日は、町内の「春の清掃活動」に参加させていただきましたが、これからも町内会活動には積極的に参加し、地域の一員として生活していきますので、皆様よろしくをお願いします。

社会福祉法人「札親会」理事長 室田 昌幸

高齢者のふれあい交流会打合せ会開催

今年度第1回目の「高齢者のふれあい交流会」の打合せ会が、5月22日(火)菊水地区会館において行われました。

福まち役員と関係機関の職員16名で検討した結果、6月28日(木)午前10時から菊水地区会館で行うことに決定しました。

イベントの内容として、午前中は介護予防寸劇「～菊子さん、誤嚥性肺炎で入院する?の巻～」・健康講話「口腔ケアについて」です。菊子さんの名演技が、今から心待ちですね。





健康づくりコーナー

健康づくりコーナーでは、保健師から「介護予防のための生活機能チェック」を受けることができます。この機会を上手にご利用してください。

手作りコーナーでは、「涼風うちわ作成」に挑戦してください。趣味のコーナーでは囲碁・将棋が楽しめます。お昼の「ランチタイム」は、井ソーマン・稲荷寿司・デザート・漬物が振舞われます。

午後の演芸コーナーでは、「アンサンブル優」による歌謡ショーをお楽しみいただきます。

毎年、高齢者のふれあい交流会は、高齢者同士の交流と心身のリフレッシュを目的に、年2回行われています。

毎回皆様ご好評を頂いておりますが、まだ1度も参加されていない方もおります。ぜひこの機会に気楽にご参加ください。

平成24年度第1回

高齢者の ふれあい交流会へのお誘い

日時 ……平成24年6月28日(木)午前10時～午後2時
 場所 ……菊水地区会館(菊水7条2丁目2-20)
 対象 ……菊水地区にお住まいの65歳以上の方
 定員 ……120名(参加無料)
 申込方法 ……町内会長、または菊水まちづくりセンターへ
 お早めにお申し込みください
 締め切り ……平成24年6月21日(木)

この事業は共同募金会の助成を受けて行っております



当日のプログラム

毎回好評の「高齢者のふれあい交流会」を開催します。

高齢者同士のお互いの交流と心身のリフレッシュを目的として、菊水地区のボランティアが心を込めて皆さんをお招きする行事です。

お友達とお誘いあわせの上多数のご参加をお待ちしています。

午前の部

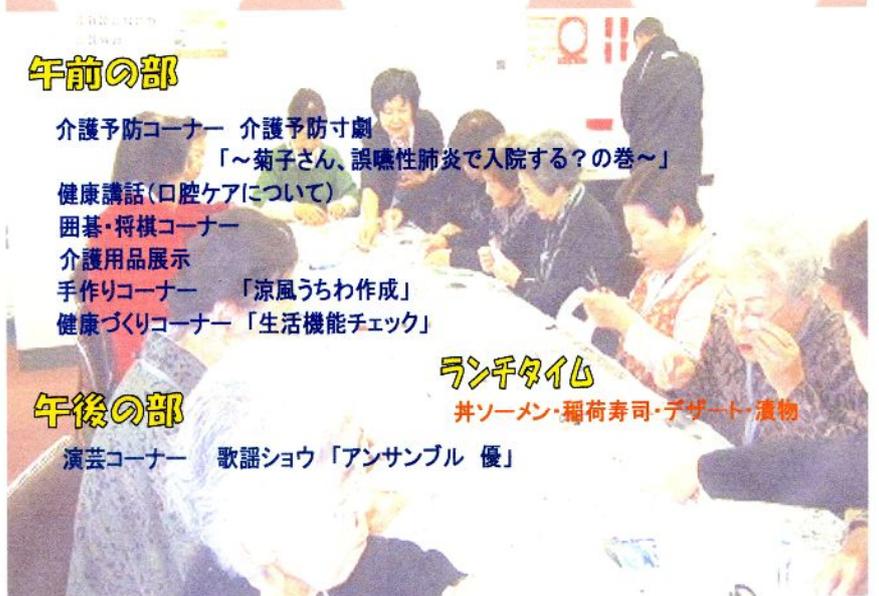
介護予防コーナー 介護予防寸劇
 「～菊子さん、誤嚥性肺炎で入院する？の巻～」
 健康講話(口腔ケアについて)
 囲碁・将棋コーナー
 介護用品展示
 手作りコーナー 「涼風うちわ作成」
 健康づくりコーナー 「生活機能チェック」

ランチタイム

井ソーマン・稲荷寿司・デザート・漬物

午後の部

演芸コーナー 歌謡ショー「アンサンブル 優」



福まち事務局長就任挨拶

私は、4月13日の運営委員会において佐藤事務局長の後任として就任しました大久保です。



民生委員・児童委員のキャリアが10年を越えた中で、この度福祉のまち推進事業を担当することになりました。

東日本大震災を経験して学んだ、絆・助け合い等を基本として「ふれあい交流会」・「見守り活動」・「研修啓発・情報提供」活動をみなさまと共に取り組み、併せて、菊水地区の福祉事業をより活性化するように努めたいと思います。

何かと慣れないため、ご指導・ご鞭撻をいただきたくお願い申し上げます。

菊水地区福祉のまち推進センター運営委員会
 事務局長 大久保 由喜

編集後記

今回、福まち事務局長の佐藤さんが、退任されました。その後任に大久保事務局長が着任されました。

大久保事務局長には、これからお世話になります。宜しくお願いいたします。

なお、退任された佐藤さん、有難うございました。

私は、都合により2カ月間休み、今回編集に復帰することになりました。

宜しくお願い致します。

6月に入る初夏となり北海道神宮祭やよさこいソーラン祭などがあり、過ぎやすい季節となりますね。

品川編集委員

主催 菊水地区福祉のまち推進センター
 協力団体 菊水町内会連絡協議会・菊水地区社会福祉協議会・菊水地区民生児童委員協議会
 白石区第二包括支援センター・介護予防センター菊水
 問合せ先 菊水まちづくりセンター (TEL 811-9445 FAX 811-3831)